

農業委員会だより



第 62 号

発行編集

倉吉市農業委員会

鳥取県倉吉市東町435-1

倉吉市役所北庁舎

☎ 0858-22-8171

FAX 0858-23-9100



農地を守り 農業・地域を支える



関金町泰久寺 鋤崎 稔さん (認定農業者)

家族労働力は、本人、妻、父母の4名で、水田(自作地2.4ha・借地8.1ha)計10.5haを耕作されています。

作付けは水稻7.7ha、大豆2ha、白葱0.2ha、野菜他0.6haです。

受託されている作業は3作業以上で1.5ha。収穫(コンバイン)は17ha(内9ha委託)。乾燥・粃ずりは25ha(JAに出荷)を年間を通して取り組んでおられます。

労力の省力化のため、平成17年から水稻疎植栽培を導入され、平成18年からはヘリコプター防除を実施されています。

また、平成20年より種子の温湯消毒に取り組まれ、安心・安全な食料生産と大規模な稲作経営に頑張っておられます。

設備：トラクター3 コンバイン1 田植機1
乾燥機5 粃ずり機1 リフト2

四王寺営農組合

農地の有効利用および農作業の受託と機械・施設の効率的利用を促進し、安定的な農業経営を実現することを目的として、四王寺土地改良区を基盤とした7地区(大谷・大谷茶屋・不入岡・寺谷・上神・原谷・北面)、組合員97戸、耕地面積水田42haで、平成18年11月に設立された営農組合です。

現在、土地の利用集積の促進による農作業の効率化、大型機械の導入による生産コストの低減に取り組まれ、また、組合員の総力を結集した荒廃水田の発生防止と、共同作業による環境保全活動などを通じて、安定した農業経営と地域の活性化に努めておられます。

経営：水稻26ha 大豆14ha(集合団地5)
飼料作物2ha(集合団地1)
作業受託6ha(コンバインによる稲刈り)



就任にあたって

会長 岸 本 岩 男

平成二十年七月の改選で、会長職をお引き受けすることとなりました。誠意を持って任にあたりたいと存じますので、よろしくお願い致します。

さて、農業を取り巻く環境は依然として厳しいものがありますが、特に平成二十年においては原油の急騰と、それに起因する肥料・飼料・諸資材の高騰がありました。又、米国発の金融不安は全世界を不況の渦に巻き込む結果となりました。

多くの農業者は、過去に繰り返されて来た社会不安や農政改変にも耐え、現在展開中の経営所得安定対策に期待して参りましたが、早くもほころびが見え隠れしているようにさえ感じます。

このような状況の中で、私たち農業委員は、農家が安心して農業が出来る環境をいかにして作り上げることが出来るのかを課題として、活動に邁進して参りたいと存じます。

農家の減少は農村の衰退につながり、農業生産力の低下は外国農産物の攻勢にさらされることが予想されますが、これを何とか防止してわが国の食料自給の向上を図るよう、農家の皆さんの頑張りを期待し、就任の挨拶と致します。

農業委員二十九人

選挙委員二十三人、選任委員（鳥取中央農協推薦一人、中部農業共済組合推薦一人、土地改良区推薦一人・市議会推薦三人）

任期は三年

平成二十年七月二十日

平成二十三年七月十九日

農業委員会の活動

優良農地の確保と有効利用

農地の売買や貸借、転用などについて、農地法に基づき許認可業務などを行うとともに、遊休農地の発生防止・解消対策、無断転用防止のための農地パトロールなど、優良農地の確保と有効的な利用に向けた取り組みを行っています。

農地の利用集積と担い手への支援

農業の担い手を育成するため、認定農業者への農地利用集積のあっせんや、経営の確立に向けた支援活動を関係団体と協力しながら行っています。

地域の世話役活動と農業者の公的代表

農業委員一人ひとりが税金、制度資金、農業者年金など農家の経営や生活に関する相談に対して、集落できめ細かな世話役活動を行うとともに、農業者の意見や要望をくみ取り、農政へ反映させるため、国・県・市に対して農業委員会として要望書などを提出します。



演題 女性農業者いきいきできる 鳥取県評議会 浜田 妙子



農業委員会の活動を円滑に進めるため、委員会内に各種委員会を設けて各委員が所属し、活動を展開しています。

特別委員会 委員九人

- 定期総会の議案審議
- 国・県・市への建議・要望事項の取りまとめと検討審議

企画委員会 委員九人

- 農業委員研修（県内・県外視察研修及び会議終了後の研修）の立案実施
- 農地監視活動（農地パトロール）の立案実施

編集委員会 委員七人

- 農業委員会だより広報誌の企画発行
- 農業・農地に係る情報等の提供

違反転用対策委員会 委員九人

- 違反転用事案に係る事前協議
- 現地調査と違反転用者に対する事情聴取及び是正指導

— 生命と農業の関わり —

土・太陽・水 — 農地（田・畑）から食卓まで

生命の維持・存続に欠かせない最も重要なもののひとつに「食べ物」があります。食料の大部分は、空気・水・土地など、自然の恩恵を受けながら、田・畑・果樹園・畜舎等で、人の手によって栽培・養育され、美味しく、安全で、安定供給できるように、限られた条件で工夫しながら生産活動をしているのが「農業」です。

将来も美味しく、安全で豊かな食料の生産と供給の確保のため、みんながきれいな空気・水・風土の保持に心がけ、健康で暮らしやすい倉吉市にしましょう。

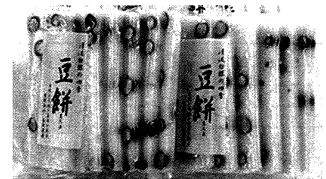
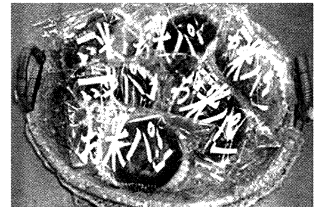
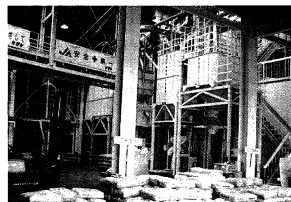
〈稲作〉

日本での米作りは弥生時代より行われ、現在に至っています。戦前での米の収量は300kg/10aであり、しばしば凶作に見舞われました。戦後、農地改革による自作農の創設と食糧管理法により政府が全量固定価格で買い上げることによって農家の生活が安定保証され、又、肥料の投入と農業機械の導入による生産技術の向上から生産量が増加しました。一方、食生活の洋風化などに伴い、米の消費量は遞減し、米の在庫増加と食管法による赤字の増大をたどったため、政府は、政府米買い入れ限度額の設定と自主流通米制度の導入、一定の転作面積の配分を柱として米の生産調整を昭和45年（1970年）に開始し、現在に至っています。



倉吉の米作り一年

4月上旬	田起こし(耕起)・育苗・荒かき・代かき
5月から8月	田植・除草・追肥・防除・穂肥え
9月から10月	稲刈り・乾燥、籾すり・出荷



倉吉の特産物

大原トマト

倉吉の大原トマト栽培は、今から四十年前に導入・栽培され、現在は八軒の生産者で、一町一反ほど「瑞健」という品種のトマトを栽培していますが、お互いに肥料・農薬使用、糖度や生産状況などチェックし栽培をしています。また、鳥取県特別栽培農産物の認証を取得し、有機肥料を使った栽培、また、とことん水を切った健苗育苗により減農薬栽培を行っています。糖度が高く食味が良いということで「大原トマト」のブランドとして定着しています。

出荷時期は四月下旬から五月中旬まで

料理レシピ

トマトサラダ



材料
トマト・塩・コショウ少々・オリーブオイル小さじ一・バルサミコ酢小さじ一・バジルの葉二・三枚

作り方

- ① トマトを食べやすく切る。
- ② ドレッシングづくり
塩・こしょう・オリーブオイルをよく混ぜる。バルサミコ酢を加えてよく混ぜる。
- ③ ②のドレッシングをトマトにかける、又ははからめる。バジルを加えてできあがり。



お知らせ

倉吉市標準小作料

区分	小作料	備考	
水田	上	10,000円	土地改良済地
	中	4,700円	土地改良未済地
畑	8,000円	普通畑 (市内全域)	

(10a当たり)

- ①賃貸契約の小作料の決定については、標準小作料を目安として、貸し手、借り手の双方で話し合っ
て決めて下さい。
- ②適用終期は定めてありません。

平成21年 倉吉市農作業労働標準賃金

今年の農作業労働標準賃金は下表の通りです。

この額は市内全般の標準賃金ですから地区や作業内容によっては異なる場合がありますので、当事者間で話し合っ
て決定して下さい。

詳しくは、農業委員会又は地区農業委員にお尋ね下さい。

作業区分	標準額	摘要 10a当たり	
普通田植	6,825円		
側条施肥田植	7,875円		
代かき	6,825円		
稲コンバイン	16,275円	雑草・変形田等 20%増 倒伏30~69% 20%増 倒伏70%以上 30%増 (但し、当事者間の話し合い) 結束 2,100円増	
麦コンバイン	12,075円		
バインダー	8,400円		
ハーベスター	8,400円	依頼者は1名出役のこと	
耕耘	全耕	6,825円	
	畑全耕	5,775円	
	深耕	15,750円	
薬剤散布	1,575円	粒・粉剤	
一般作業労働賃金	6,400円	1日8時間・賄いなし(税込み)	
大豆・小豆栽培	播種	4,200円	
	中耕培土	5,250円	
	脱穀	5,775円	依頼者は1名出役のこと
	コンバイン	8,925円	
畦づくり	63円	片畦1m当たり	
もみ・大豆運搬	小袋	157.50円	1袋
	大袋	5.67円	1kg当たり 袋使用料込み
草刈	1,575円	畦1時間当たり	

①環境不良田、畑(8a未満のほ場・湿田等)は20%増しとします。但し、決定については当事者間で話し合
いください。

農家相談会

☆時間 午前9時~午後3時
☆場所 倉吉市農業委員会事務局

相談日	相談員
3月18日(水)	筏津 純一 衣笠 繁則
4月20日(月)	西谷美智雄 毛利紀久子
5月18日(月)	水谷榮之進 金光 隆
6月18日(木)	太田 光紘 黒川 衛
7月21日(火)	岸本 岩男 山口 博敬

相談内容
農作業の受委託・農地の賃貸・売買・転用、農業者年金など、気軽にご相談ください。
農地に関する相談は農業委員会へ!!

一人ひとりの農業者を応援する 農業者年金に加入しましょう!!

- あなたの老後生活への備えは十分ですか?
- 年金は家族一人ひとりについて準備することが大切です!
- 老後の備えは国民年金プラス農業者年金が安心です!

編集部より

農業委員会だよりの編集にあたりましては、市民の皆様
に親しんでいただくための広報誌になるよう、身近な情報・ご意見などおまちしています。

農業者の皆さんにいち早く情報を知って頂くため、倉吉市ホームページ内に情報を掲載しています。

農業委員会ホームページ紹介

新しい農業・農村の動き・新経営戦略や営農技術・流通・家庭と暮らしなどの確で役立つ情報誌です。

発行 全国農業会議所 発行日 毎週金曜日

購読料 一カ月 六〇〇円

申込み先 農業委員又は農業委員会事務局

全国農業新聞を読みましょう!

問合せ先：倉吉市役所北庁舎
農業委員会事務局

電話 22-1871

FAX 23-9100 (農林課内)